



川西幼稚園だより

令和8年9月

富田林市立川西幼稚園

大人になったあなたを支えるのは、子ども時代のあなたです

園長

石田 安志



静かに照らす。 春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬雪さえて 冷やしかりけり（道元）

2学期が始まりました。赤とんぼが夕日に照らされ、あれだけ暑かった夏を越え、少しずつ季節が移ろいを肌で感じるようになりました。

そして、秋は、夜空の月がきれいな季節です。静かで澄んでいる水面であれば、水に映る月をきれいに映し出しますが、荒れた水面は何も映しません。

音の実験では、同じ音の高さの音叉（おんさ）を二つ並べて、その一つを鳴らすと、もう一つの音叉が振動し始めます。同じ波長・波動を持つ人同志は、互いに共鳴しあい元気になるといいます。これは物理的にも証明されている現象です。また、違う音でも、和音のように重ねて響きあうものと、不協和音となって心に響かない音の重なりもあります。響きあうには、もう一つの音の響きをよく聞いてハーモニーになるように調整する必要があります。

「読書の秋」といいますが、なぜかスラスラと読み進める時もあれば、なかなか頭に入ってこない時もありますよね。これも、脳が静かで、文字と同調できているかどうかでしょう。

同じように、ラジオは、目に見えない周波数を合わせることできれいな音楽を聴くことができます。よく聞こえるためには雑音を減らすことです。では、雑音とは何でしょうか？いかり、あせり、不安、嫉妬、自分本位・・・などからくる感情の乱れです。それらは、私たちの判断をゆがめ、勇気をくじきます。早く心の静寂を取り戻すためには、「今の自分にできること」と「自分にコントロールできないこと」を知ることです。未来が心配で何も手につかない時は、「手が動けば・準備。頭だけが動けば・心配」という言葉を思い出してください。

さて、今年の運動会は10月3日土曜日。運動会を単に走る競争に終わることなく、みんなが一緒に企画からお祭りを盛り上げていくような取り組みにしたいと思っています。

走ること、跳ぶことや身のこなしは、運動の敏感期にある子どもたちの安全と自信を与えます。また、オリジナルTシャツを作ったり、会場を飾ったり、ポスターを造ったりと見に来ていただく方へのおもてなしも運動会の一部です。年長さんの演技を見た年少さんは、大いに刺激を受けて踊りだします。次へのステップは、その前の段階をいかに充実して経験してきたかにかかっているので、「次は自分が主役」と内発的な動機付けになります。見どころ、学びどころが満載の取り組みなので、ゆっくり子どもたちのアイデアややる気を引き出していきたいものです。

運動会は成長の過程を見ていただく場ですので、子どものその時の発達段階によって方向性の違いはあります。子どもの豊かな成長を願う大人は、子どもの成長を他人との比較でなく、どれだけ成長したかに焦点を当てて静かに照らしてあげましょう。